

令和3年度 第69回北信越高等学校定時制通信制総合体育大会実施要項 (5月案)

1. 主催 北信越高等学校体育連盟、福井県高等学校体育連盟
全国高等学校定時制通信制教育振興会北信越地区協議会
2. 共催 福井県教育委員会
3. 主管 福井県高等学校体育連盟定時制通信制専門部
福井県高等学校定時制通信制教育振興会連合会
4. 後援 福井市 福井市教育委員会 福井新聞社
5. 期日 令和3年10月16日(土)～17日(日)

6. 会場	専門委員長会議	福井市体育館 10:30 より		
	競技別開始式	各競技会場（開会式終了後、監督会議）		
	競技別監督会議	バスケットボール会場を来賓出席による開会式とする。		
	実施競技・会場	軟式野球	福井県営球場(15日・16日) きららパークグラウンド (15日)	
		バスケットボール	道守高等学校体育館	(2面)
		バレーボール	福井市北体育館	(2面)
		バドミントン	福井市東体育館	(6面)
		卓球	福井市西体育館	(10台)
		ソフトテニス	福井県営テニスコート	(5面)
柔道		福井県立武道館柔道小道場	(2面)	
剣道		福井県立武道館多種目競技場	(1面)	
サッカー	福井運動公園補助競技場	(1面)		

7. 日程	各競技会場にて開会式を行う		
	バスケ・バレー・卓球・ソフトテニス 軟式野球・バドミントン		柔道・剣道・サッカー
10月16日(土)	11:00～ 練習可能 12:25～ 選手・役員整列 12:30～12:40 開会式 終了後、監督会議	バスケットボール会場にて 振興会長挨拶	12:55～ 選手・役員整列 13:00～ 開会式 終了後、監督会議 13:15～ 練習可能 (サッカーは13:30～) 14:15～ 競技開始 (サッカーは14:30～)
10月17日(日)	8:30～ 競技開始 (軟式野球は8:00～) ※競技終了後、閉会式 (各競技会場にて) 13:00 全日程終了予定		

8. 参加資格

- (1) 各競技の全国大会参加資格に準ずる。
- (2) 北信越高等学校定時制・通信制課程の在學生で、年齢・学年は問わない。
- (3) 一人1競技とし、チームの編成は、県または学校単位とする。
- (4) 全国高等学校総合体育大会（予選会を含む）出場者は、同年度本大会に出場できない。
- (5) 同一年度の出場は同一競技4回までとする。

9. 競技別競技方法

- (1) 団体戦の参加は各競技とも各県1枠とする。
- (2) 各競技の団体戦は以下の通りである。
 - ①野球・サッカーについてはトーナメント戦とする。（怪我防止の観点より原則として1日1試合とするが、5チームの参加になった場合、日程と組み合わせの都合上1日2試合の場合もある）
 - ②バスケットボールについては参加チーム数が4～5チームの場合にトーナメント戦とし順位決定戦を行う。3チームの場合はリーグ戦とする。
 - ③バドミントン・卓球・ソフトテニス・剣道についてはリーグ戦とする。
 - ④柔道は4～5チームの場合はトーナメント戦とするが、3チームはリーグ戦とする。なお、すべての種目において2チームの場合は原則として1日目に試合を行い、競技を終える。
- (3) 個人戦はベスト16によるトーナメント戦とする。但し、競技種目や参加人数によってはリーグ戦または他の方式をとることがある。トーナメント戦による3位決定戦は行わない。各県の参加人数は、各県3名以内+開催県枠1名の最大16名とする。但し、柔道と剣道は各県4名以内とする。
- (4) 各競技において必ず順位を決定する。

団体戦（リーグ戦）では

 - ①勝ち点の多いチームを上位とする。勝ち点は（勝ち：3点、引き分け：1点、負け：0点）とする。
 - ②勝ち点と同じ場合、直接対戦の勝利チームを上位とする。
 - ③上記の①・②で決定しない場合は、それぞれの競技方法に記載されている通りに決定する。
- (5) 感染症対策として（「2.2. 新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン」参照）今大会を無観客試合とする。

【軟式野球】

- (1) 競技規則は当該年度公認野球規則による。大会特別規定は全日本軟式野球連盟大会規則による。
- (2) 本大会は7回戦とし、5回終了以降で7点以上の差のある場合はコールドゲームとする。7回終了時点で同点の場合は、最後に出場している9人のジャンケンで決定する。
但し5回終了以降で1時間30分を超えている場合は新しいイニングに入らない。
- (3) 登録人数は1チーム、監督1名、コーチ2名、マネージャー1名、選手18名までとする（女子の出場も認める）。
- (4) 試合球は「TOPボール」M号を使用し、主催者で準備する。
- (5) 雨天時の競技実施の可否については、主催県競技役員で協議の上決定し、速やかに各県監督に連絡する。
- (6) 競技方法は出場チーム数により下記の通り行う。
 - ①5チームの場合、1日目に1回戦1試合・準決勝2試合を行う。2日目に決勝・4位決定戦を行う。
 - ②4チームの場合、1日目は準決勝2試合を行い、2日目に決勝・3位決定戦を行う。
 - ③3チームの場合、1日目は準決勝1試合、2日目に決勝を行う。

【バスケットボール】

- (1) 競技規則は現行の（公財）日本バスケットボール協会競技規則による。（全国大会に準ずる）
但し、競技時間は各10分間のクォーター制とし、第1と第2クォーター、第3と第4クォーターの間に各2分間、第2と第3クォーターの間に10分間の休憩を入れる。
（10-2分休-10・10分休・10-2分休-10）
- (2) 登録人数は1チーム、監督（H. コーチ）1名、コーチ（A. コーチ）1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手15名までとする。
- (3) ユニフォームは規則に定められたものとする。濃淡2色を用意し、共に番号は0、00及び1～99を用

いる。

- (4) 組み合わせ左側または番号の若いチームがオフィシャル席に向かって右側のベンチとし、原則として淡色のユニフォームを着用する。
- (5) 試合球は検定球とし、主催者で準備する。
- (6) 競技方法は出場チーム数により下記の通り行う。
 - ① 5チームの場合、1日目に1回戦・準決勝2試合を行う。2日目に決勝・3位決定戦を行う。また敗者同士の組み合わせで4位決定戦を行う場合もある。(同じ組み合わせになった場合は、試合を行わず前日の結果をもとに順位を決定する)
 - ② 4チームの場合、1日目は準決勝2試合を行い、2日目に決勝・3位決定戦を行う。
 - ③ 3チームの場合は、リーグ戦とし1日目は2試合、2日目は1試合を行う。

【バレーボール】

- (1) 競技規則は当該年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則による。ただし、ネットの高さは男子2m35cm、女子2m15cmとする。全試合3セットマッチで行う。
- (2) 出場チーム数は、各県男女各1チームとし、出場チームが4チーム以上の場合トーナメント戦、3チーム以下の場合リーグ戦とする。
- (3) 登録人数は1チーム、監督1名、コーチ2名、マネージャー1名、選手14名までとする。(12名の場合：リベロ0～2名、13名以上の場合：リベロ2名を入れること。)
- (4) ユニフォーム、監督章、コーチ章、キャプテン章、マネージャー章は規則に定めるものを着用する。ユニフォームは統一し、1～14の一連番号とすることが望ましい。
- (5) 試合が連続する場合には、15分以上20分以内の休憩をとる。
- (6) 試合球は検定球とし、主催者で準備する。
使用球は、今年度の全国高校定時制通信制バレーボール大会に準ずる。
<令和3年度> 男子モルテン (V5M5000)・女子ミカサ (V300W)

【バドミントン】

- (1) 競技規則は現行の（公財）日本バドミントン協会競技規則ならびに同大会運営規程による。
- (2) 今大会は団体戦のみの大会形式とし、個人戦は行わない。
- (3) 団体戦出場チームは各県、男女各1チームとしリーグ戦を行う。また、試合は必ず最終試合まで行うものとする。
- (4) 団体戦登録人数は1チーム、監督1名、コーチ2名、マネージャー1名、選手3～6名で編成する。団体戦は複1、単1、単2の3試合で実施する。同一の試合において単・複の選手の重複はできないが、試合毎の単・複の変更はオーダー提出によって認められる。3名で出場の場合、単2を棄権とする。
- (5) 団体戦において選手3名同士の対戦において、勝ち試合数が1対1の場合は引き分けとする。
- (6) 得点は21点3ゲームマッチで行う。但し得点が20点オールになった場合、2点差の得点をしたサイド、更に24点オールになった場合、25点目の得点をしたサイドがそのゲームの勝者となる。
- (7) 選手の服装は（公財）日本バドミントン協会審査合格品（上下）を着用しなければならない。合格品を調達できない場合は、上着については、白無地のポロシャツを認める。選手は背中にゼッケンをつける。(縦15cm 横30cm以内、県名、県名・学校名、県名・氏名、学校名・氏名のいずれかを記入。上着にプリントをする場合、遠くから見てもはっきりわかれば構わない。)
- (8) 使用シャトルは（公財）日本バドミントン協会検定合格球とする。主催者が準備する。
- (9) 団体戦（リーグ戦）での順位の決定については
 - ① 勝ち点数の合計が多いチームをより上位とする。
 - ② 勝ち点数の合計が2チーム以上同数の場合は、直接対戦の勝利チームを上位とする。
 - ③ ①②で決しない場合は、取得マッチ（試合）率の高いチームを上位とする。
 - ④ さらに同数の場合には、取得ゲーム数の高いチームを上位とする。
 - ⑤ さらに同数の場合は、全試合の取得ポイント総数と喪失ポイント総数を集計し、取得ポイント率が高いチームを上位とする。
 - ⑥ 前項でも決まらない場合は、大会本部が判断する。
- (10) 審判補助のお願い

- ①線審や得点表示などの審判補助は各県より出して大会を行う。
- ②審判補助者については、監督・コーチ・選手など規定しない。
- ③試合を行っていないチームから審判補助を行う。

【卓 球】

- (1) 競技規則は現行の(公財)日本卓球協会競技規則による。(タイムアウト制は適用しない)
- (2) 団体戦の出場チーム数は、男女各1チームとし原則リーグ戦とする。また、試合は必ず最終試合まで行うものとする。
- (3) 団体戦登録人数は1チーム、監督1名、コーチ2名、マネージャー1名、選手は3～6名とする。試合は5Sで行う。また、人数が5名に満たない場合、単5の最終試合から棄権とする。
- (4) 選手4名のチーム同士の対戦において、得試合数が2対2の場合、引き分けとする。
- (5) 団体戦(リーグ戦)の順位は以下の通り決定する。
 - ① 勝ち点の多いチームを上位とする。・・・9競技別競技方法(4)を参照
 - ② 勝ち点と同じ場合、全ての試合の勝ゲーム数が多いチームを上位とする。
 - ③ ②で決定しない場合は、
 - ア 2チームが同じ場合は、直接対戦の結果で決定する。
 - イ 3チーム以上が同じ場合は、対象チームの対戦結果を抜き出して、勝ゲーム数が多いチームを上位とする。
 - ④ ③で決定しない場合は、勝ちゲーム数/負けゲーム数の差が大きい方を上位とする。
 - ⑤ ④で決定しない場合は、総得点/総失点の数値の差が大きいチームを上位とする。
- (6) 個人戦は各県男女とも3名以内(開催県は4名以内)のエントリーとする。選手は団体戦と兼ねることができる。
- (7) 試合球は硬球プラスチックボール(白球で日本卓球連盟公認ニッタク)とし、主催者が準備する。
- (8) 試合は個人戦で11点3ゲーム先取法とする。団体戦は11点2ゲーム先取法とする。
- (9) 服装は競技用の半袖シャツ、短パンであること。選手は背面にゼッケンをつけること。(ゼッケンのサイズはB5版を基準とし、白地の布に文字は黒を使用すること。上段に県名、中段に選手名、下段に学校名を記入する。)
- (10) ペンホルダータイプのラケットは黒ラバーの場合は裏面を赤に、赤ラバーの場合は裏面を黒に塗らなければ使用できない。
- (11) 今大会は1日目に個人戦を行い、終了次第団体戦を数試合行う。2日目に残りの団体戦を行う。

【ソフトテニス】

- (1) 競技規則は(公財)日本ソフトテニス連盟ハンドブックによる。
- (2) 団体戦出場チーム数は、各県男女各1チームとし、リーグ戦とする。
- (3) 団体戦登録人数は1チーム、監督1名、コーチ2名、アシスタントコーチ1名、マネージャー1名、選手4～10名で編成する。試合は3組対抗とする。人数が満たない場合、3組目を棄権とする
- (4) 個人戦は各県男女とも3組以内(開催県は4組以内)のエントリーとする。選手は団体戦と兼ねることができる。
- (5) シューズはテニスシューズを使用すること。服装は連盟公認のものに準ずる。
- (6) 選手は背面にゼッケンをつける。(ゼッケンのサイズはB5版を基準とし、白地の布に文字は黒を使用すること。上段に県名、中段に選手名、下段に学校名を記入する。)
- (7) 試合球は公認(赤M=アカエム)とする。主催者が準備する。
- (8) 個人戦と団体戦のどちらを先に行うかは、参加チーム数を考慮し決定する。
- (9) 荒天時は、競技委員長・県代表男女監督・審判長等で協議の上、内容を決定する。

【柔 道】

- (1) 競技規則は国際柔道連盟試合審判規定並びに全国高等学校体育連盟定時制通信制部柔道専門部申し合わせ事項による。
- (2) 団体試合
 - 1) 試合時間は3分間とし、勝敗の決定は、「一本」「技あり」「僅差」*1とし、得点差が無かつ「指導」

の差が1以内の場合は「引き分け」とする。

*1「僅差」とは、双方の選手間に技による評価（技あり・有効）がない、又は同等の場合、「指導」差が2以上あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝とする。勝敗の決定方法は以下の通りとする。

(ア) 勝ち抜き試合とする。

(イ) チームの内容が同等の場合は、代表選手を任意に選出して代表戦を行う。

(ウ) (イ) で得点差が無い場合は、時間無制限の延長戦（ゴールデンスコア方式）により勝敗を決定する。

(3) 個人試合

1) 試合時間は3分間とし、勝敗の決定基準は「一本」「技あり」とする。

2) 得点差が無い場合は、時間無制限の延長戦によって勝敗を決する。

(4) 団体試合は各県男女1チームの出場とする。参加チームが5チームの場合はトーナメント戦、3～4チームの場合はリーグ戦とする。

(5) 団体登録人数は監督1名、コーチ2名、マネージャー1名、選手は男子正選手5名・女子正選手3名、補欠選手は男女とも2名とする。選手変更は補欠選手との交代のみとし、試合ごとにオーダーの変更を認める。ただし、男女ともに2名以上から参加できる。

(6) 男子個人試合は体重別3階級で行い、各県各階級4名以内のエントリーとする。各階級は65kg級（65kg以下）、75kg級（65kg超から75kg以下）、75kg超級（75kg超）とする。
女子個人試合は無差別級で行い、各県4名以内のエントリーとする。（エントリーが多い場合には階級設定をすることがある）

(7) 計量は、1日目13:30から競技会場にて行う。計量失格者は個人試合に出場できない。

(8) 1日目に男子個人試合および女子個人試合を行い、2日目に団体試合を行う。ただし、参加人数によって1日目で大会を終えるようであれば1日目の個人試合終了後に団体試合を行うこともある。

【剣道】

(1) 競技規則は（一財）全日本剣道連盟「剣道試合・審判規則」・「試合審判規則並びに細則」及び、「全国高等学校体育連盟剣道専門部申し合わせ事項」による。

(2) 団体試合は、4分、三本勝負とし、時間内に勝負の決しない場合は引き分けとする。尚、リーグにおけるチームの引き分けの際はその都度勝負を決定せず、そのリーグ終了後下記の順で順位を決める。

(イ) チームの勝ち点（勝2点・引き分け1点）

(ロ) 勝者数

(ハ) 取得本数

イ、ロ、ハの結果勝負が決定しない場合は、代表者戦（補欠は含まない）にて決する。試合時間は4分間一本勝負とし、時間内に勝敗が決しない場合には時間制限なしで、延長戦を勝負が決するまで継続する。

(3) 団体試合は、各県男女混成1チームの出場とし、リーグ戦とする。

(4) 団体登録人数は引率責任者（県選抜は代表責任者）1名、監督1名、コーチ1名、アシスタントコーチ1名、マネージャー1名、選手は、男子正選手として、先鋒・中堅・大将3名補欠1名・女子正選手として次鋒・副将2名補欠1名とする。（人数が不足する場合は、先鋒から順に配置すること。）引率責任者は監督を兼ねることができる。

(5) 団体試合は、男女合わせて3名のみのチーム参加も可能とする。

男子3名の場合、先鋒・中堅・大将とする。

男子2名・女子1名では、男子を先鋒・中堅、女子を副将とする。

男子1名・女子2名では、男子を先鋒、女子を次鋒・副将とする。

(6) 個人試合参加人数は、各県男女各4名以内とする。

(7) 個人試合は、男女とも4分間、三本勝負とし、勝負が決しない場合は、時間制限なしで、延長戦を勝負が決するまで継続する。

(8) 竹刀の長さ・重さは規定通り（長さ117cm以内、重さ：男子480g以上・女子420g以上）とし、ビニールテープ等を用いて補強した竹刀の使用は禁止する。つばは、つば止め等を用い必ず固定すること。竹刀の先革先端部直径（先革を付けた状態）はその最小径が、男子26mm以上・女子25mm以上とする。竹刀の先端部（先革を付けない状態）はその最小直径が男子21mm以上・女子20mm以上とする。先革には竹刀の先端部の寸法に適合するものを使用し、その長さは5cm以上とする。先ゴムには芯がなく、つぶれにくいものを使用する。

- (9) 竹刀の検量は、大会当日、試合会場にて13:30から行い、合格竹刀には検印を押す。検量不合格の竹刀は、試合終了まで本部預かりとする。
- (10) 前垂に名札を着用すること。
- (11) 個人試合、団体試合ともに1日目に行う。

【サッカー】

- (1) 競技規則は当該年度（公財）日本サッカー協会競技規則による。
- (2) 出場チーム数は、各県1チームとし、トーナメント戦とする。
- (3) 試合時間は前・後半合計60分（30-10-30）とする。時間内で勝敗が決定しない場合はPK方式により次回戦に進むチームを決定する。但し、決勝戦において時間内に勝敗が決定しない場合は20分（10-10）の延長を行い、なおも決定しない場合はPK方式により決定する。
- (4) 登録人数は1チーム、監督1名、コーチ2名、マネージャー1名、選手18名までとする（女子の出場も認める）。
- (5) 選手の交代については協会が定める「再交代」を採用する。
- (6) 試合球は検定球とする。主催者が準備する。
- (7) 選手は全員統一されたユニフォームを着用する。事前に登録されたものを原則とし、選手番号の変更は監督者会議以降認めない。
正・副2着、異なる色のユニフォームを携行し審判によるユニフォームチェックに従うこと。但し、審判と類似色の上着を用いることはできない。
シャツの前面・背面に参加申込書に登録された選手固有の番号をつけること。選手番号は1から18の通し番号とする。縦縞や、横縞の上着には布地に背番号を縫いつけ、分かりやすくする。
- (8) 本大会期間中に、警告を2回受けた者は、次の1試合に出場することはできない。退場となった者は次の1試合に出場することができず、それ以降の処置については、大会の競技委員会で決定する。
- (9) 選手は自分自身あるいは他の選手に危険となるような用具やその他のもの（装身具を含む）を身につけてはならない
- (10) 競技方法はトーナメント戦で、出場チームにより下記のとおりとする。
 - ①5チームの場合、1日目は1回戦・準決勝2試合を行い、2日目に3位決定戦と決勝を行う。
 - ②4チームの場合、1日目は準決勝2試合を行い、2日目に3位決定戦と決勝を行う。
 - ③3チームの場合、1日目は準決勝1試合を行い、2日目に決勝を行う。
 - ④2チームの場合、1日目に決勝を行う。

10. 出場人員（登録人数）

競技	引率 責任者	監督	コーチ	Aコーチ	マネ	団体戦出場枠	個人戦出場枠	備考
軟式野球	1	1	1	1	1	18		男女
バスケットボール	1		1	1	1	15		男・女
バレーボール	1	1	1	1	1	14		男・女
バドミントン	1	1	1	1	1	3～6		男・女
卓球	1	1	1	1	1	3～6	各県3名以内 (開催県4名以内)	男・女
ソフトテニス	1	1	1	1	1	4～10	各県3組以内 (開催県4組以内)	男・女
柔道	1	1	1	1	1	男2～5補2 女2～3補2	男子各級4名以内 女子4名以内	男・女
剣道	1	1	1	1	1	男1～3補1 女0～2補1 男女で3名以上	男子4名以内 女子4名以内	男・女 混成
サッカー	1	1	1	1	1	18		男女

17. 組合せ抽選会

- (1) 期 日 令和3年8月27日(金) 13:30～
※大会事務局が行い、決定次第各県専門委員長に抽選結果をお知らせする。

18. シード規定

- (1) 団体戦 ①本年度全国大会上位入賞県(1～3位)をシードとする。
②前年度1位の県をシードとする。
- (2) 個人戦 ①本年度全国大会入賞者(1～3位)の出場者をシードとする。(同一ペア)
②前年度1位の出場者をシードする。(同一ペア)
③各県1位をシードに入れる。
できるだけ同県がベスト4まで対戦しないようにする。
できるだけ1回戦で対戦県が重複しないようにする。

19. 選手の変更について

- (1) 抽選日以降、大会前日までに団体戦の選手の変更(追加・抹消・変更)は、各県定通部事務局もしくは専門委員長の承認を得た上で、所定の用紙に記入し、大会事務局に連絡すること。(メール・FAXにて)大会当日においては各競技監督者会議で所定の用紙を受け取り記入したうえで提出すること。監督者会議において参加選手を確定し、その会議の中で報告をする。それ以降の変更は認めない。また、登録変更により登録人数が抽選日以降よりも増えた場合、増えた人数分の参加料は、各県専門委員長を通じて大会事務局に納めること。
- (2) 個人戦出場選手の変更は抽選会(令和3年8月20日)までとする。それ以降は、原則として認めない。ただし、ソフトテニスのペアについては同一校の選手1名に限り認める。
- (3) 棄権が分かったら速やかに大会事務局に連絡すること。

20. 北信越高等学校定時制通信制総合体育大会における個人情報及び肖像権に関する取り扱い

- (1) 参加申込書に記載された個人情報の取り扱い
① 大会プログラムに記載されます。
② 競技場内でアナウンスなどにより紹介されることがあります。
③ 競技会場内外の掲示板等に掲載されることがあります。
- (2) 競技結果(記録)等の取り扱い
① 認められた報道機関により、新聞・雑誌及びホームページ等で記載されることがあります。
② 大会プログラム記載の個人情報とともに専門部事務局が作成する大会報告書に掲載されます。
- (3) 肖像権に関する取り扱い
① 認められた報道機関が撮影した写真が、新聞・雑誌・大会報告及び関連ホームページ等で公開されることがあります。
② この他、各県高等学校体育連盟定時制通信制部会の許可にもとづき、記念写真等が関係者に販売されることがあります。
- (4) 北信越高等学校体育連盟定時制通信制部会としての対応について
① 取得した個人情報を上記利用目的以外に使用することはありません。
② 参加申込書の提出により、上記取り扱いに関するご承諾をいただいたものとして対応させていただきます。
③ 個人情報等の掲載または公開等に関してのご質問は、各県高等学校体育連盟定時制通信制部会事務局までご連絡下さい。

21. その他

- (1) 引率責任者は、団体で単独校での参加の場合、校長の認める当該校の職員とし、県選抜チーム出場校および個人戦出場校は、校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、各県高体連会長に事前に届け出る。
- (2) 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。但し、各県に規定があり、引率・監督者がこの基準により限定

された範囲内であればその規定に従うことを原則とする。監督、コーチ等については、学校長の認めた指導者とする。

- (3) 要項に規定されていない事項については、代表者・監督会議で決定する。
- (4) 開会式は各競技の服装としシューズを着用すること。
開会式では優勝杯返還・レプリカ授与・全国大会上位入賞者披露を行う。
- (5) 競技中の疾病、傷害の応急処置は主催者側で行うが、その後の責任について主催者は負わない。
- (6) 各競技の成績は、各県高体連定通部事務局に終了後速報を送付する。
- (7) 参加者全員に、記念品としてプログラムを贈る。
- (8) 競技時は、自分自身あるいは他の競技者に危険となるような用具やその他（装身具を含む）を身につけてはならない。また、入れ墨・タトゥ等は見えないように配慮すること。
- (9) 全競技終了目標時間を10月17日（日）午後12時とする。

2.2. 新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン

高体連が示している新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドラインに従い、以下の点を踏まえ事務局や参加校・関係者の協力のもとに大会を運営に努めること。（全国高体連が発表次第参考にして掲載する）

（北信越大会実施について）

○大会前（参加校の対応）

- ・顧問は出場予定選手の健康状態を2週間前より把握し、体調不良が疑われる場合や同居家族の感染疑いがある場合は出場を辞退させる。
- ・保護者に無観客試合の理解を得る。

○大会当日（参加校・事務局の対応）

- ・会場内はマスク着用を義務付ける。マスクがない場合は入場できない。（ただし事務局でもマスクを少し準備する）試合中以外は控え選手などもマスクを着用する。引率者（監督・コーチ）も着用する。試合中に交代して控えとなった選手は自分のマスクをベンチに準備しておくこと。ただし、顧問は熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合は、マスクを外すよう生徒に指導する。コーチングの際は選手との距離も配慮する。
- ・各校引率者の責任において生徒の検温と体調確認を行い、参加者一覧（健康調査票）を提出する。（大会本部に非接触型体温計を準備し、検温できるようにする）
- ・開閉会式は部長挨拶・優勝旗返還・諸連絡だけを行い、短時間で済ませる。選手・役員はお互いの距離を1m以上開けて並ぶ。
- ・大会は無観客とし保護者・応援生徒の観戦はできないものとする。会場に入れるのは選手・引率者・関係者のみとする。
- ・会場に入る際は手指消毒（事務局が準備）を行う。会場内では十分な換気を行う。バドミントン・卓球競技では定期的な換気（1日目の14:00・16:00、2日目の10:00に10分間試合を中断して換気する）を行う。
- ・対戦相手や審判等との握手、仲間と手をつないだり肩を組んだりして行う円陣、ハイタッチなどは行わない。
- ・各会場において更衣室の利用は短時間とする。密集していると感じる場合は時間をずらすなど心がける。また換気に配慮する。

○その他

- ・参加者一覧（健康観察票）は1か月程度保管する。大会後2週間以内に感染者が出た場合は、事務局より引率責任者に連絡し、引率責任者から各校参加者に周知する。
- ・引率者は試合会場での生徒の行動（食事や休憩時）を把握し、生徒同士が密集することがないように心がける。